

發句

泉鏡花作

春

買初かひぞめに雪ゆきの山家やまがの繪本えほんかな

まな板いたに旭あさひさすなり芹薺せりなすな

爪紅つまべにの雪ゆきを染そめたる若菜わかなかな

戀人こひびとと書院しよゐんに語かたる雪解ゆきげかな

蕉園せうえんをおもふ

普門品ふもんぼんひねもす雨あめの櫻さくらかな

母ははこひし夕山ゆふやま櫻峰さくらみねの松まつ

春月しゅんげつや摩耶山まやさんニ利天たうりてん上寺じやうじ

町内の鶯來たり朝櫻  
ちやうない うぐひすき あけはくわい

雪洞をかざせば花の梢かな  
ほんほり ほな はな こすえ

紅閨に簪落ちたり夜半の春  
こうけい かざしお よは はる

花李 美人の影の青きまで  
はなすも びじん かけ あを

釣鐘に袖觸れつ春寒き寺  
つりがね そで ふ はるさむ てら

おぼる夜や片輪車のきしる音  
よ かたわぐるま のきしる おと

雨の中摘むべき草を見てすぎぬ  
あめ なかつ くさ み

長の家わづかに蠶なき一間  
おさ いへ かひこ ひとま

掌に花柚のせつゝ片折戸  
たなそこ はなゆ かたをりど

夏

瀧三條夕日にかゝる新樹かな  
たきみすぢゆふひ  
しんじゆ

新築の青葉がくれとなりにけり  
しんちく  
あをば

窓々や青田見めぐる羅漢堂  
まど／＼  
あをたみ  
らかんだう

なく蛙 白河に關はなかりけり  
かはづ  
しらかは  
せき

船頭も餛飩打つなり五月雨  
せんどう  
うどん  
さつきあめ

藤棚や雨に紫末濃なる  
ふぢだな  
あめ  
すそこ

花二つ紫陽花青き月夜かな  
はなふた  
あぢさゐ  
つきよ

紫の映山紅となりぬ夕月夜  
むらさき  
つゝじ  
ゆふつきよ

撫子の根に寄る水や夕河原  
なでしこ  
ね  
よ  
みづ  
ゆふがはら

わが戀は人とる沼の花菖蒲  
こひ  
ひと  
ぬま  
はな  
あやめ

卵うの花はなや家いへをめぐればちさ小ちき橋はし

よしありて卵うの花はな垣がきの妾おもひもの

青あを蓼たでの厨くりやも見みえて麻あさ暖のれん簾

蝙蝠かうもりや二ふ日つ月つき夜よの柳やなぎ町ちやう

玉たま造つくり温泉おんせんにて

水晶すゐしやうを夜よる切きる谷たにや時ほと鳥ぎす

海み松るふさの颯さつと大だいなり浪なみがしら

干かん瓢びやうや賤いや民みんの苧おだ環まき剥むきかへし

岸きし行ゆくや霰しゆくも切きらず四よ手つて網あみ

日ひ盛でかりや汽き車しゃ道だうはしる小ちいさき蟹かに

雲くもの峰みね石いし伐きる斧のの光ひかりかな

黒猫くろねこのさし覗のぞきけり青簾あをすだれ

悟空ごくう三みたび芭蕉扇ばせうせんを調ととのふ極暑ごくしよかな

手てにとれば月つきの雫しじくや夏帽なつぼうし子

馬道うまみちを水鷄くひなのありく夜更よふけかな

秋

木槿垣むくげかき萩はぎの花垣はながきむかひあひ

鼻紙はながみに山蟻やまあり拂はらふ墓參ほさんかな

爪弾つまびきの妹いもが夜寒よさむき柱はしらかな

花火はなび遠とほく木隠こがくれの星見ほしみゆるなり

銀河天に高張立てし水の番

鴟なくや大工飯食ふ下屋敷

山伏の篠山渡る初あらし

露寒し露寒し月に蓑着ばや

鹽原にて

むらもみぢ燈して行く貉の湯

秋の雲尾上の薄見ゆるなり

水瓶に柳散込む廚かな

打果てゝ雨の網代に人もなし

来るわ／＼扱くあとへ稲を引扛ぎ

木犀もくせいの香かに染しむ雨あめの鴉からすかな

鳴なかでたゞ鶺鴒せきれい居ゐるや石いしの上うへ

田鼠たねずみや薩摩芋さつまいもひく葉はの戦そよぎ

十六夜いざよひやたづねし人ひとは水神すゐじんに

浦風うらかぜや秋あきの蝶てふと飛とぶ小松原こまつばら

秋あきの蝶てふとさみしさに見みれば二ふたつかな

きり／＼す此處ここは砂村瓜すなむらうりばたけ畠

蘆垣あしがきに嫁菜花よめなはなさく洲崎すさきかな

冬

湯ゆの山やまの村むらむらおなじ小菊こぎくかな

川添かはぞひの 飴屋あめや油屋あぶらや時雨しぐれけり

片時かたしぐれ雨すきば杉葉かへかけたる 軒暗のきくらし

曉あかつきや 尾上をのへを 一つひと行く 千鳥ちどり

路傍みちばたの 石いしに 夕日ゆふひや 枯かれすゝき

こがらしや 噴水ふんすいに 飛とぶ 鉦かね屑くず

鵓ぬえの 額がくかゝる 霰みぞれの 峯みねの 堂だう

京みやこに 入いりて 市いちの 鯨くじらを 見みたりけり

松明まつな 投なげて 獸追けものおひやる 枯野かれのかな

猪いのししや てんてれ つくてんてれ つくと

臥猪ふすかと 驚おどろく 朴ぼくの 落葉おちばかな

山茶花さんざんくわに 此この 熱爛あつかんの 恥はづかしき

閑こがらしや天狗てんぐが築きづく一夜いちや塔たふ

ピンゾロの丁ちやうと起おきたり鐘かね氷こほる

藏前くらまへや師走しはす月夜づきよの炭俵すみだはら